



第7回 食の新潟国際賞 受賞者決定！

大賞はジョゼ・グラジアノ・ダ・シルバ氏、中村丁次氏の2名が受賞

世界各国から多数の推薦

第7回食の新潟国際賞は昨年9月～12月までの期間、世界からの推薦募集を行い、その結果、世界10ヶ国 75名という大変多数の推薦応募を頂きました。今年5月19日、東京において第7回食の新潟国際賞選考委員会(委員長 唐木 英明)が開催され、各賞の受賞候補者を複数選出し、理事会に答申されました。先般開催されました財団理事会において、唐木選考委員長からの受賞候補者の選考経緯、選出した候補者の選考理由の説明をいただき、理事会において4賞、5名の受賞者が決定しました。また、7月28日に新潟市役所において、中原新潟市長、唐木選考委員長、池田弘財団理事長同席のもとで、国内受賞者4名も出席して受賞者発表記者会見が行われ、国内外に受賞者を公表し、その功績を伝えました(記者会見の詳細は次回財団通信で報告予定)。なお、第7回食の新潟国際賞表彰式は11月29日(火)午後2時から、朱鷺メッセ 国際会議室 マリンホールで開催されます(別項目)。

大賞＝ジョゼ・グラジアノ・ダ・シルバ氏(ブラジル・イタリア)

世界の食の問題解決への顕著な貢献 1件 賞状、正賞(記念工芸品)、副賞 500万円(複数受賞のため分配)



ジョゼ・グラジアノ・ダ・シルバ氏
国際連合食糧農業機関(FAO)
前事務局長
ゼロハンガー研究所 所長

国際連合食糧農業機関(FAO) 前事務局長 / ゼロハンガー研究所 所長

○ 受賞理由 :

ブラジルをFome Zero(ゼロハンガー)運動により飢餓を根絶した指導者。FAO(国連食糧農業機関)の事務局長として、世界のゼロハンガー運動を主導し、世界の飢餓の撲滅に大きな成果をあげた。飢餓ゼロは国連のSDGsの17の目標にも盛り込まれた。

○ 主な活動・研究について :

現在、ブラジルにおいてゼロハンガー研究所長を務めている。サンパウロ大学で農学博士号や経済学・農村社会学の修士号を取得し、世界各国の大学から名誉博士号を授与されている。特に食料安全保障、農村開発、農業・農地問題をテーマに30年にわたり教鞭をとり、研究や政治活動を行い、数多くの著書や論文を発表している。

大賞＝中村 丁次氏(日本)

世界の食の問題解決への顕著な貢献 1件 賞状、正賞(記念工芸品)、副賞 500万円(複数受賞のため分配)



中村 丁次氏
(大)神奈川県立保健福祉大学 学長
(公社)日本栄養士会 代表理事 会長

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 学長
公益社団法人日本栄養士会 代表理事 会長

○ 受賞理由 :

日本が世界に誇る栄養学のリーダーとして、学校給食の栄養基準や栄養教諭の創設、食育基本法の制定等日本の学校給食の基礎を作った。東南アジアでの指導や研修生の受け入れを通じて、栄養学や栄養教育の普及に努め、国際的にも高い評価を得ている。

○ 主な活動・研究について :

「栄養の力で人々を健康に、幸せにする」、「東京栄養サミット2021」で岸田総理が挨拶の中で引用した中村の言葉である。世界は、飢餓と肥満が共存する栄養不良の二重負荷に悩み、健康のみならず経済、労働、教育の問題に影響を与えている。中村は、健康長寿国家建設の基盤となった日本の栄養改善を半世紀にわたりリードし、その体験を「Japan Nutrition」と称して世界に発信している。

佐野藤三郎特別賞＝中山 輝也 氏(日本)

地域の国際交流や研究での顕著な貢献 1件 賞状、正賞(記念工芸品)、副賞 100万円



株式会社キタック 代表取締役会長

○ 受賞理由 :

中国黒龍江省三江平原の農業開発プロジェクトに佐野藤三郎氏に師事し計画当初から技術者として参加、プロジェクトの成功に大きな役割を果たした。

現在も現地の技術研修生の受け入れや近隣諸国との国際交流推進役として活躍している。

○ 主な活動・研究について :

佐野藤三郎氏の三江平原プロジェクトに参加。その後、JICAのFSに加わり、佐野氏は、円借款でダム建設、中国有数の穀倉地帯への足掛かりを作る。これがもとで新潟県は黒竜江省、新潟市が哈爾濱市と友好関係をもつ。

佐野氏の勧めで新潟県対外科学技術交流協会を設立、民生インフラの技術協力を行ってきた。一方、水利勘測研究院と合併・独資を設立。とくに技術者幹部教育に努めた。これらが北東アジア交流のベースとなる。

2010年前後から、モンゴル国で砂漠緑化など、JICAに持ち込む。

日本技術士会を通じて毎年日韓会議を開催し50年を迎えた。また、旧ソ連崩壊後、極東の研究機関を支援など。さらに、東南アジア諸国への農業、環境技術の普及啓発につとめた。

21世紀希望賞＝齋藤 和樹 氏(日本)

発展と成果が期待される研究・活動 1件 賞状、正賞(記念工芸品)、副賞 100万円



アフリカライスセンター 主席研究員

○ 受賞理由 :

アフリカの食料自給率向上の為、新育種材料の発見・選抜手法の開発等の研究を通じてアフリカのイネ育種事業に大きく貢献した。

また、小規模農家の稲作営農システムの整備や集約、農家の生計、栄養改善にも大きな成果をあげた。

○ 主な活動・研究について :

京都大学大学院で北ラオスの焼畑稲作研究を対象としたテーマで農学博士号を2005年に取得。その後、コートジボワールを拠点とするアフリカライスセンターでアフリカにおけるイネ生産性改善に向けた研究活動に従事している。現在の主な研究テーマは、収量ギャップ・持続性の評価、肥培管理技術、稲作栽培意思決定支援ツールなどである。

地域未来賞＝伊藤 親臣 氏(日本)

新潟県内での食と農への顕著な貢献 1件 賞状、正賞(記念工芸品)、副賞 100万円



株式会社 SnowBiz 代表取締役

○ 受賞理由 :

雪のエネルギー利用の研究に取り組み、雪冷熱エネルギーの実用化と多用途利用を実現させた先駆者であり、利雪事業に大きく貢献した。食品の雪室貯蔵による商品開発は新潟県食品産業の新たな発展が期待できる。

○ 主な活動・研究について :

大学で雪冷房システムに関する研究に取り組み、無限の可能性を秘めた雪に魅了され、2000年に雪だるま財団(安塚町/現上越市)に勤務。雪の資源化を図るとともに、小中学校の雪冷房や農産物貯蔵施設など県内外の雪冷熱システム設計・監修を担当。また、雪室を応用した食品の低温貯蔵における高付加価値化により新潟の食の魅力と未来を切り開いている。

● 正賞「シュプリングエン」

正賞として授与されるモニュメントは第22代文化庁長官、第9代東京藝術大学学長の宮田亮平氏によって製作されたものです。
宮田氏は佐渡市出身の世界的にも著名な金属工芸家でもあります。



● 第7回食の新潟国際賞 選考委員会

(敬称略・順不同)

職 名	氏 名	所属・職名
委員長	唐木 英明	前（公財）食の安全・安心財団 理事長
委 員	赤阪 清隆	前（公財）フォーリン・プレスセンター 理事長
委 員	今野 正義	（株）日本食糧新聞社 代表取締役会長CEO
委 員	石井 勇人	（株）共同通信社 共同通信アグリラボ所長
委 員	西澤 直子	石川県立大学 学長
委 員	清水 誠	東京大学 名誉教授
委 員	生源寺 眞一	福島大学 食農学類 学類長・教授
委 員	渡辺 聡	新潟県農業総合研究所 食品研究センター長
委 員	伊藤 忠雄	新潟大学 名誉教授

● 表彰式スケジュール

第7回国際賞表彰式は11月29日(火)に開催予定

第7回目を迎える食の新潟国際賞は11月29日(火)に新潟市の朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 国際会議室（マリンホール）で開催いたします。是非多くの方からご出席いただきますようご案内申し上げます。

※ 下記スケジュールは現段階の予定です。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催内容が変更(延期・中止)される可能性があります。
あらかじめご了承ください。

主な行事	時刻	会場
表彰式	14:00～	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 4階 国際会議室（マリンホール）
受賞者記念講演	15:00～	
受賞祝賀会・交流レセプション	17:30～	ホテル日航新潟 朱鷺の間

(第6回表彰式の様子)



(朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター)



令和4年度理事会及び評議員会の開催 各議案が承認、新役員(理事)を選出

令和4年度の第1回理事会及び評議員会が開催され、令和3年度活動報告及び決算が承認されました。

また、任期満了に伴う理事の選任が評議員会において承認され、その後の理事会(書面決議)において理事長に池田 弘氏、副理事長に 中原八一氏、田中通泰氏、吉田康氏の3名、常務理事に鈴木伸作氏がそれぞれ再任されました。

新役員は下記の通りです。



理 事

	氏 名	所属・役職
理事長	池田 弘	(学) 新潟総合学園 総長
副理事長	中原 八一	新潟市長
副理事長	田中 通泰	亀田製菓(株) 取締役シニアチェマン
副理事長	吉田 康	(株)ブルボン 代表取締役社長
常務理事	鈴木 伸作	(公財)食の新潟国際賞財団
理事	五十嵐 豊	亀田商工会議所 会頭
理事	伊藤 能徳	新潟県農業協同組合中央会 代表理事会長
理事	大平 俊治	新潟県酒造組合 会長
理事	大坪 研一	新潟薬科大学 特任教授
理事	門脇 基二	新潟工科大学 副学長
理事	佐藤 明	新潟日報社 代表取締役社長
理事	佐藤 功	サトウ食品(株) 相談役会長
理事	霜鳥 雅徳	新潟商工会議所 副会頭
理事	杉本 克己	亀田郷土地改良区 理事長
理事	武本 俊彦	新潟食料農業大学 食料産業学部長教授
理事	富山 栄子	事業創造大学院大学 教授 副学長
理事	中山 輝也	(株)キタック 代表取締役会長
理事	西海 理之	新潟大学 自然科学系 教授
理事	野崎 正博	一正蒲鉾(株) 代表取締役社長
理事	吉田 至夫	新潟経済同友会 代表幹事

特別顧問・ファウンダー

氏 名	所属・役職
古泉 肇	亀田商工会議所 顧問

顧問

氏 名	所属・役職
篠田 昭	前 新潟市長

評議員

R4.7 現在(順不同)

氏 名	所属・役職
青山 浩子	新潟食料農業大学 准教授
赤阪 清隆	(公財) ニッポンドットコム 理事長
牛木 辰男	新潟大学 学長
唐木 英明	(公財)食の安全・安心財団 前理事長
下條 文武	新潟薬科大学 学長
小泉 武夫	東京農業大学 名誉教授
今野 正義	(株)日本食糧新聞社 代表取締役会長CEO
並木 富士雄	(株)第四北越フィナンシャルグループ 代表取締役会長
西澤 直子	石川県立大学 学長
西澤 正豊	新潟医療福祉大学 学長
服部 幸應	(学) 服部学園 理事長
若杉 隆平	新潟県立大学 学長
渡辺 好明	新潟食料農業大学 学長

監 事

氏 名	所属・役職
栗山 敏昭	(株)栗山米菓 代表取締役社長
酒井 昌彦	(株)N S T 新潟総合テレビ 代表取締役社長
高橋 伸彰	(株)第四北越銀行 執行役員 コンサルティング事業部長

相談役

氏 名	所属・役職
栗山 清	(株)栗山米菓 相談役
武田 修三郎	日本産学フォーラム ファウンディングディレクター

「食料産業の明日を語る」

近年の食料産業は世界規模で技術革新によりかつてないスピードで発展し日本の農業や食料産業も大きな変革期を迎えております。

一方、ロシアのウクライナ侵略などによる世界の食糧や資源の危機は、市民生活はもとより食料産業へ深刻な影響を及ぼし、喫緊の国際問題となっております。

新潟県はコメを中心とする農業と食料製造業を基幹産業として発展してきましたが、持続可能な産業に発展するためには、より一層大胆かつ大きな変化が求められています。

このシンポジウムでは最新の世界の食糧・資源問題を把握するとともに、新潟をリードする食品産業と農業経営者の皆様から新潟の食料産業の現状と未来について語って頂きます。

是非、多くの方からご聴講いただきますようご案内いたします。

日 時 2022年9月2日(金) 14:00~17:00

会 場 ホテル イタリア軒 3階 サンマルコ (新潟市中央区西堀通7番町1574)

定 員 80名 (先着順・無料)

《 1. 基調講演 》



(1) 「逼迫する世界の資源・食糧問題」～ウクライナ危機を踏まえて～

柴田 明夫 氏 (株) 資源・食料問題研究所 代表取締役

○ 東京大学農学部卒、丸紅入社、丸紅経済研究所 代表を経て現職。



(2) 「米産業に未来はあるか」

吉田 俊幸 氏 (一財) 農政調査委員会 理事長

○ 農学博士。東京大学農学部卒、高崎経済大学学長を経て現職。

「米産業に未来はあるか」(農政調査委員会) 企画・編集を担当。

《 2. パネルディスカッション 》



ファシリテーター:

渡辺 好明 氏 新潟食料農業大学 学長 / 元農林水産事務次官

○ 東京教育大学(経済) 卒、農林水産省構造改善局長、水産庁長官、
内閣総理大臣補佐官(郵政民営化担当)を経て現職。

パネリスト: 高橋肇氏、浅野和男氏、坪谷俊之氏、基調講演者(柴田氏、吉田氏)



高橋 肇 氏

亀田製菓(株)
執行役員
お米総合研究所 所長



浅野 和男 氏

(株)ブルボン
常務取締役
執行役員
統合企画部長



坪谷 俊之 氏

木津みずほ生産組合
代表理事

● 特 別 会 員

亀田製菓(株)
一正蒲鉾(株)
(株)第四北越銀行
(株)新潟日報社
亀田商工会議所
にいがた22の会

(株)ブルボン
サトウ食品(株)
(株)栗山米菓
(株)新宣
(株)新潟クボタ
(株)日本食糧新聞社

(学)新潟総合学園
新潟県農業協同組合中央会
亀田郷土地改良区
(株)エイケイ
NST新潟総合テレビ
五十嵐建設工業(株)

● 正 会 員

新潟市農業協同組合
新潟県信用組合
(株)第一印刷所
(株)本間組
石本酒造(株)
(株)ミカサ
神山物産(株)
ハセガワ化成工業(株)
藤屋段ボール(株)
(株)タケショー
(株)新潟博報堂
BSN新潟放送
新潟陸運(株)
(株)新潟食品運輸
月島食品工業(株)
(株)ニッポン関東支店

日本甜菜製糖(株)
(株)鳥梅
新潟工科大学産学交流会
(株)キタック
北越工業(株)
丸榮製粉(株)
鍋林(株)ヘルスフーズ事業部
TeNYテレビ新潟放送網
(株)栗田工務店
三和薬品(株)
松田産業(株)
セツツカートン(株)新潟工場
東邦産業(株)
麒麟山酒造(株)
(株)加島屋
(株)日本フードリンク

(株)ディモルギア
UX新潟テレビ21
イカリ消毒(株)
新潟工科大学
(株)日本旅行新潟支店
(株)田中組
(医)愛仁会 亀田第一病院
(株)ひらせいホームセンター
ワタキューセイモア(株) 新潟営業所
(株)エヌエスアイ
(株)トップライズ
(株)ウオシヨク
(株)ヤマダ
(株)新潟国際貿易ターミナル
八海醸造(株)

● 個 人 会 員

古泉 肇	藤島 安之	和田 充彦	高畑 昭文	廣瀬 利雄	山口 勉	高橋 常考	田村 敏郎
杉本 克己	近藤 鴻	大川 秀雄	大倉 正寿	吉岡 謙一	古口 日出男	坂田 武利	門脇 基二
佐藤 久栄	大谷 勝男	田中 敏明	青木 清	阿部 徳威	佐藤 勉	佐藤 清一	野上 文彰
板井 茂	浅井 善広	清水 良一	田中 作一	新保 房機	古泉 榮三	佐藤 純	倉嶋 則昭
塚本 太一	大越 斎	野口 正晴	酒井 定勝	齋藤 秀明	松本 裕志	當野 篤	高山 利夫
久保田 紳一	河瀬 三千夫	和澄 孝男	五十嵐 修	望月 健三郎	山田 雄治	鈴木 正二	竹石 松次
古泉 幸代	大森 ゆかり	高橋 慶三	阿部 昭一	渡邊 信也	宇野 勝雄	赤塚 義廣	坂井 俊一
鈴木 伸作	佐藤 銀治郎	加藤 寿一	石附 由美子	齋藤 博文	斎藤 幸広	田辺 俊文	小田 静二
渡邊 徹	中村 好彦	栗田 浩	栗田 朋子	阿部 文仁	高尾 茂典	五十嵐 豊	久代 勝英
古泉 幸一	加藤 純子	高倉 広利	中野 節子	阿部 愛子	大島 照美子	宮口 澄子	青木 太華子
五十嵐 康子	五十嵐 早苗	佐藤 金治郎	佐藤 文男	高橋 征男	高橋 克郎	田村 泰生	山崎 尉生
中村 雪絵	村山 浩太郎	稲葉 晋	川崎 千春	秋山 正之	松川 忠史	濱野 剛	山根 憲介
池田 祥護	星野 幸三	糸満 盛人	伊豆 智	小林 哲也	岡田 茂久	遠山 幸男	小野 隆樹
大橋 祐貴	前田 穰	桐原 隆晃	長井 基樹	岸田 良満	中村 健一	小林 宏志	柳澤 敏郎
遠藤 俊介	葉葦 正幸	星野 聡	高崎 三男	桑原 毅	大日方 聡	宮下 好文	高橋 裕作
小平 勝志	坂田 浩一	田中 雅史	藤間 佑輔	品田 卓也	渋谷 政道	村山 雄亮	北爪 文義
近藤 正	高橋 佑	荒井 弘美	重泉 篤史	本間 康弘	中野 克之	国松 豊	最上 正人
森本 昌章	佐藤 正尚	下條 幸二	廣川 正通	小谷 尚志	高橋 道映	田中 弼	佐藤 浩晃
村山 和恵	小林 達	佐藤 善昭	酒井 栄一郎	佐藤 聡	小林 守	阿部 欣也	杉谷 浩一
佐々木 一	金田 季之	宮島 泰	高崎 俊哉	藤田 正明	池田 一史	石崎 宏幸	小嶋 孝代
清水 泰成	渡邊 雄一郎	駒形 正明	大沼 成勝	丸山 智史	阿部 貴美	古俣 周策	小野 隆樹
牧 利幸	田邊 威	高橋 大介	伊藤 雅明	秋堂 春美	田中 義夫	長谷川 克弥	山口 穰